



3号
MAY. 22TH
2017

電子機械科 NEWS

Systems Engineering Mechanical & Electrical

抜いても 抜いても
草の執着を
抜く
山頭火

安心と安全 そして ご安全に

●今年度の電子機械科の重点目標は

「整理・整頓・清潔・清掃を意識し、**安全**で効率的な作業を実践できる生徒を育てる」である。

●東京都はある場所をめぐり、この安心・安全の定義でもめ、小池知事がいつごろこの問題に結論を出すのか、話題になっている。

安心と安全、同様な表現を短文で表すとこんな形になる。

- ・安心して生活できる。 安全な生活環境。 ・安心して車に乗ることができる。 安全な運転。
- ・安心して食事ができる。 安全な食品 ・原発があっても安心して過ごせる。 安全な原発？

●この文からすると、**安心**は副詞的な働き（安心して〇〇することができる）、**安全**は形容詞的な働き（安全な□□）をする名詞のように思える。私たちは安全な工場の環境を作ることはできる。が、作業を行うのは人間である。

●**安心して**作業するためには、**整理・整頓・清潔・清掃を意識し、安全**な環境を作ることが最も大切である。

■数年前、兵庫県高砂市にある「三菱重工高砂製作所」を訪問したとき、来訪者の私に気付くと、口々に「**ご安全に**」と声をかけてくれた。案内された西田さんに聞くと工場内で広く使われている挨拶の言葉ということであった。

工業棟中庭紀行

●教室棟と工業棟の間に中庭がある。そのエントランスに、右写真のような不思議な看板がある。文法的な誤りがあるのが可愛い。旧産高時代から何度か校舎の塗装を繰り返してもそのまま残されている。

●どうやら、この上の階には災害時の避難梯子が設置されていたようだが、その梯子は2階トイレの屋根に別の目的で取り残されている。

●ところで、この庭は、旧県立益田工業高校にあったものを移植、移設したもの。統合時の最初の計画にはなかったが、当時の教職員の働きで、校舎が取り壊される前に、こちらに移動されたもの。

●試験中、工業棟中庭の草刈りを行った。土地がそう肥よくでないためか、雑草の茎は細く、ナイロンワイヤーでバチバチしばいて刈っていった。

■さて、冒頭の山頭火の句。執着、雑念が抜けないのは草ばかりではない。恰好年を取った筆者にも、この執着のようなものがまだまだ一杯残っている。

